

《総合科学教育部博士前期課程 臨床心理学専攻》

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名	ディプロマ・ポリシー	【1. 学識、研究能力及び高度専門職業能力】	【2. 倫理観及び責任感】	【3. 国際的発信力及び社会貢献】	科目の教育目標
		人文・社会・自然科学からなる総合科学の視点に基づく幅広い知識と論理的思考を備え、臨床心理学の関連領域において明確な問題意識を持ち研究を進める能力に加え、心のケアに係る専門的な職業に従事できる高度な能力を有している。	コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら、心の問題に対応できる教育研究者あるいは実務家として公共の福祉に貢献できる高い倫理観・責任感を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立して行動できる。	世界水準を目指す研究成果の発信により、臨床心理学の課題探究と地域社会の問題解決に貢献することができる。	
教育部共通科目	環境科学	◎		○	自然環境やその変容を人間社会や生物との関わりにおいて総合的に捉え、持続可能な社会を実現するための視点を獲得する。
教育部共通科目	行動科学	○	○		身体の生理・心理機能の基礎的知識およびそれらの測定評価方法を修得し、「ヒトの行動」を科学的に捉える視野を身につけ、「健康」、「疾病予防」、「メンタルヘルス」などとの社会的諸問題に取り組もうとする意志・能力を養うことを目標とする。
教育部共通科目	情報科学	○	◎	○	履修者各自がICTが基盤となった社会に貢献するための基礎的教養を身につける。
教育部共通科目	地域科学 I	○	◎	○	地域科学の最も重要な概念である「地蔵可能な開発」の由来と定義、さらに意義について学ぶとともに、自らが取り組む研究テーマとの関わりは、他の分野との連携について、グループワークを通じて実践的に学び、理論と応用の力を身につける。
教育部共通科目	プロジェクト研究 I	◎	◎	◎	地域の活性化に貢献できる。
教育部共通科目	総合科学課題研究 I	○	○	◎	・総合的な学術研究の基本を身につけている。 ・論理的思考力と発表スキルの基本を身につけている。 ・現代の地域をめぐる多様な課題について理解している。 ・異なる研究領域との交流を通して多面的な研究視点を獲得している。
専攻専門科目	臨床心理学特論A	◎	○		臨床心理学の基礎理論について理解する。 臨床心理査定の大略、数種の査定方法について具体的に説明できる。 臨床心理学的援助技法の大略、数種の援助技法について具体的に説明できる。 臨床心理学的地域援助技法の大略について説明できる。 様々な心理臨床の現場とその実践の独自性について説明できる。 臨床心理士の専門性と倫理について、理解を深める。
専攻専門科目	臨床心理学特論B	◎	◎	○	臨床心理学の独自性・専門性を近接領域との比較を通して理解し、心理臨床の場で生かせるようになる。 心理臨床家としての倫理について理解し、説明でき、実践できる。
専攻専門科目	臨床心理面接特論A(心理支援に関する理論と実践)	◎			様々な心理療法理論に基づく心理面接の基礎的知識とその実際についてイメージし、説明することができるとともに、心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整について提案できる。
専攻専門科目	臨床心理面接特論B	◎			個別臨床心理面接の受理から終結にいたるまでの一般的な流れについての知識を習得することを到達目標とする。
専攻専門科目	臨床心理査定演習A(心理アセスメントに関する理論と実践)	◎	○		クライアントの状態に適した心理査定を行える技術と能力を身につける。
専攻専門科目	臨床心理査定演習B	◎			投影法に関する基礎的な理論と代表的な技法について知る。
専攻専門科目	臨床心理基礎実習A	◎	○		学内外での心理臨床活動を行うに先立って、臨床心理学的サービスを効果的に行うための基礎的技術を身につける。特にクライアントの語りを傾聴し、適切な応答ができるための能力を習得することを目標とする。

《総合科学教育部博士前期課程 臨床心理学専攻》

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名	ディプロマ・ポリシー	【1. 学識、研究能力及び高度専門職業能力】	【2. 倫理観及び責任感】	【3. 国際的発信力及び社会貢献】	科目の教育目標
		人文・社会・自然科学からなる総合科学の視点に基づく幅広い知識と論理的思考を備え、臨床心理学の関連領域において明確な問題意識を持ち研究を進める能力に加え、心のケアに係る専門的な職業に従事できる高度な能力を有している。	コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら、心の問題に対応できる教育研究者あるいは実務家として公共の福祉に貢献できる高い倫理観・責任感を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立して行動できる。	世界水準を目指す研究成果の発信により、臨床心理学の課題探究と地域社会の問題解決に貢献することができる。	
専攻専門科目	臨床心理基礎実習B	◎	◎	○	学内外での心理臨床活動を行うに先立って、臨床心理学的サービスを効果的に行うための基礎的技術を身につける。特に基礎実習Bでは、より実践に近いかたちでの訓練を行うことで、臨床心理面接をより効果的に行うための能力を身につけることを目標とする。
専攻専門科目	臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)	◎			個別事例への適切な心理アセスメント法と臨床心理面接法を行える。
専攻専門科目	臨床心理実習B	◎	○		学外の臨床心理実習機関における心理臨床の役割を理解し、それぞれの現場で適切な心理臨床が行える。
専攻専門科目	認知心理学特論	◎		○	認知心理学の理解を深め、認知機能の障害によって生じうる問題を把握する。
専攻専門科目	認知心理学特論演習	◎		◎	認知心理学における知見の理解を深め、得られた知見と臨床との関連を考察し得る能力を身につけることを目標とする。
専攻専門科目	生涯発達心理学特論	◎		◎	生涯発達の過程におけるさまざまな発達課題と心理臨床的問題、さらには臨床実践の実際について考察し、理解を深めることを目標とする。
専攻専門科目	家族研究特論	◎			家族研究をデザインできるように各理論・技法を応用できる。 家族支援において各自が理念を明確にすることができる。
専攻専門科目	臨床心理関係行政特論	◎	◎	○	臨床心理に関する行政・関連法規および諸問題について理解し、臨床心理業務において必要な倫理観を身につける。
専攻専門科目	社会心理学特論	◎		○	人間の社会的行動に関する理論や知見を学習し、それを基に臨床心理学的問題を考えることが出来る。
専攻専門科目	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	◎	○		医学全体における医学心理学の占める位置と役割を説明できる。 人間、社会、文化と現代医療の関係を説明できる。 医療技術と患者の心理について説明できる。 心理的発達の基本を説明できる。 精神力動と精神療法(カウンセリング、認知療法、音楽療法など)の基本を説明できる。 脳局在機能と心の関係について説明できる。 心身相関の基本を説明できる。 疼痛・摂食・睡眠における心理的側面を理解する。
専攻専門科目	障害臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	◎	○	○	障害分野での心理学的支援について学び、臨床実践の基礎知識を得るとともに、その応用について考えられる力を身につける。
専攻専門科目	心理療法特論	◎	◎		1. 精神力動的心理療法および認知行動療法の基礎理論や介入法について説明できる。 2. 多様な心理臨床場面で、より適切な臨床心理学的サービスを選択できる。
専攻専門科目	臨床心理的地域援助特論	◎	○	○	臨床心理的地域援助を行うための実践的知識を理解したうえで、演習、実習を通して実践技術を身につける。
専攻専門科目	臨床心理学特別演習	◎	◎	◎	修士論文作成に必要な能力を養成する
専攻専門科目(自由科目)	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	◎	○		司法・犯罪分野における心理学の専門的知識を習得するとともに、司法・犯罪の各分野における様々なケースや問題に対して、心理学がどのように寄与しているのかについて理解を深める。

《総合科学教育部博士前期課程 臨床心理学専攻》

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名	ディプロマ・ポリシー	【1. 学識、研究能力及び高度専門職業能力】	【2. 倫理観及び責任感】	【3. 国際的発信力及び社会貢献】	科目の教育目標
		人文・社会・自然科学からなる総合科学の視点に基づく幅広い知識と論理的思考を備え、臨床心理学の関連領域において明確な問題意識を持ち研究を進める能力に加え、心のケアに係る専門的な職業に従事できる高度な能力を有している。	コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら、心の問題に対応できる教育研究者あるいは実務家として公共の福祉に貢献できる高い倫理観・責任感を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立して行動できる。	世界水準を目指す研究成果の発信により、臨床心理学の課題探究と地域社会の問題解決に貢献することができる。	
専攻専門科目 (自由科目)	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	◎	○		(1)労働者に対するメンタルヘルス相談・援助や研修等を行う知識を説明することができる。 (2)労働者に対するメンタルヘルス相談・援助や研修等の計画立案および実施ができる。 (3)組織・労働現場のメンタルヘルス対策の活動に参画できる。 (4)労働環境の改善や労働者のパフォーマンスの向上に役立つ知識・技術を提供できる。
専攻専門科目 (自由科目)	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	◎	○		・親面接の基本を理解し、典型的な事例に対して、ケースフォーミュレーションができる。 ・夫婦面接の基本を理解し、典型的な事例に対して、ケースフォーミュレーションができる。 ・集団面接の基本を理解し、典型的な事例に対して、ケースフォーミュレーションができる。
専攻専門科目 (自由科目)	心の健康教育に関する理論と実践	◎	○		1 学生は心の健康教育に関する理論を理解している。 2 学生は心の健康教育を実践できる。
専攻専門科目 (自由科目)	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	◎	◎		教育場面における心理的支援の役割と限界を理解し、個々の事例に対し多角的な視点からの支援が行えるようになることを目標とします。
専攻専門科目 (自由科目)	心理実践実習Ⅰ	◎			①保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野の特徴を実践的に理解する。 ②電話受付の技法を身につける。
専攻専門科目 (自由科目)	心理実践実習Ⅲ	◎			①心理面接技法を身につける。 ②アセスメント技法を身につける。
専攻専門科目 (自由科目)	心理実践実習Ⅳ	◎			①医療・保健分野の1つであるメンタルクリニックにおける心理師の果たす役割を学ぶ。 ②医療・保健分野の1つであるメンタルクリニックにおける心理師の技法を知る。
専攻専門科目 (自由科目)	心理実践実習Ⅴ	◎			①病院での心理師の意義、役割、責任を知る。 ②児童養護施設での心理師の意義、役割、責任を知る。
専攻専門科目 (自由科目)	心理実践実習Ⅵ	◎			①保健センターでの心理師の意義、役割、責任を知る。 ②サポートステーションでの心理師の意義、役割、責任を知る。